

事業評価書

補助事業名	環境衛生施設:街頭防犯カメラ整備工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	茨城県小美玉市内				
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市では、少子高齢化・人口減少に伴い、自治会・町内会加入率が低下し、地域のつながりが希薄化してきている。これまで、自治会等は、地域の防犯や見守りなど様々な活動を支えてきたが、犯罪や事故に対する地域防犯機能が低下し、犯罪や事故に対する不安が高まっている。</p> <p>このことから、犯罪の抑止及び事件・事故の早期解決を図るため防犯カメラの整備を推進し、犯罪が起りにくい環境づくりを行い、安全安心なまちづくりを推進するものである。</p>				
補助事業の内容	街頭防犯カメラ整備 5基				
補助事業の始期及び終期	令和4年度から令和6年度				
事業費及び交付金額		令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	事業費	円 3,157,000	円 3,377,000	円 3,850,000	円 10,384,000
	交付金額	円 2,800,000	円 3,000,000	円 3,340,000	円 9,140,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 当施設は、5年度で工事が完了し供用を開始した。地域の代表者や学校長などに対して意見を聴取したところ、防犯カメラが設置されたことにより、犯罪抑止や事件・事故の早期解決につながると感じる等の回答があった。防犯カメラの増設により、さらなる効果的な犯罪抑止・事故防止が図られ、地域の代表者からは肯定的な意見を多数いただいたことから、効果を図りながら事業を継続していく。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①防犯カメラ設置標識に補助事業名記載 ②市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無し				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し				

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：耐震性貯水槽設置				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市外之内地区				
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市の消防水利の整備状況は、茨城県内の各自治体平均の設置状況と比べて低く、未だ不十分な状態である。</p> <p>平成24年1月に本市小川地区で発生した住宅火災では延焼により建物10棟が全焼、4棟が部分焼となった上に焼死者1名を出した。また、東日本大震災時には地震の影響による断水（消火栓使用不能）中に火災が発生しており、平成31年2月に大型事業所で発生した火災では、水利不足による防ぎよ活動の遅れから延焼拡大し、結果的に複数の建物（約10,000平方メートル）を焼損する大規模火災となってしまった。</p> <p>このような現状と今後発生が想定される首都直下型地震等の予期せぬ災害に備え、必要な水源を確保するために耐震性貯水槽を整備して消防水利の充実と強化を図り、住民が安心して安全な暮らしができる環境に寄与することを目的に、年間1～3基の設置を計画し、市内全域に過不足なく耐震性貯水槽を配置して、小美玉市内の設置率70%（茨城県：77.1%）を目指す。</p> <p>【参考指標】 整備予定地区の人口／世帯数：外之内地区 288人／116世帯 (R5.4.1現在)</p>				
補助事業の内容	耐震性貯水槽（40m ³ 型）1基				
補助事業の始期及び終期	令和5年度				
事業費及び交付金		令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降予定	計
	事業費	円 0	円 10,494,000	円 0	円 10,494,000
	交付金額	円 0	円 9,500,000	円 0	円 9,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 外之内区における耐震性貯水槽の整備が完了した。地元区長に対して住民の意識調査を依頼し、意見聴取を行ったところ。地域住民からは、耐震性貯水槽が新設されたことによって、安心して安全な暮らしができる環境が整備されたとの報告を受けており、市としても、耐震性貯水槽の設置率が向上し、消防水利の充実と強化が図られたと評価します。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 地区回覧、防火水槽の標識（支柱）、意見聴取用紙に調整交付金事業である旨記載をした。また、市ホームページ及び広報紙に掲載し、多くの市民に防衛交付金による設置事業であることを周知することができた。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用 の有無	無				

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：放水銃購入事業				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市小川43-2ほか小美玉市消防本部小川消防署ほか2消防署				
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市消防本部管内は現時点において、大規模火災に対応するための放水器具が整備されていない状況となっている。</p> <p>平成24年1月に本市小川地区で発生した住宅火災では延焼により建物10棟が全焼し、4棟が部分焼となった上に焼死者1名を出した。さらに、令和4年2月に本市竹原地区において発生した林野火災では約20,000㎡が焼損した。</p> <p>このような大規模火災や危険物火災、強風下の中での消火活動さらに、多種多様化する火災現状に対応するために、放水銃を整備して消防力の強化を図り、住民が安心して安全な暮らしができる環境を整えることを目指す。</p> <p>【参考指標】 整備予定地区の人口/世帯数：小美玉市 48,932人/21,565世帯</p>				
補助事業の内容	放水銃購入事業 クロスファイアー放水銃4基				
補助事業の始期及び終期	令和5年度				
事業費及び交付金額		令和4年度以前	令和5年度	令和6年度以降	計
	事業費	円 0	円 4,895,000	円 0	円 4,895,000
	交付金額	円 0	円 4,500,000	円 0	円 4,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果】 訓練使用後に署員から意見を聞き取った結果、放水銃を4基配備したことにより、消防力が強化され大規模火災に対応可能となった。</p> <p>長時間放水活動になる際、人員を割かなくとも大量の放水量が確保可能となった。</p> <p>【住民への周知状況】 ホームページ及び広報誌にて掲載し小美玉市内外の在住の方に周知できた。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	福祉に関する事業：小美玉市公共用バス整備基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市内								
補助事業の成果の目標	<p>現在、小美玉市では地域住民の社会福祉活動の一助として市が所有する公共用バスを利用する事業等を行う各種団体に貸し出している。</p> <p>当市の公共用バスは、既に10年以上を経過しており、総走行距離も20万km以上であることから、修理や部品交換が年々多くなっており、また安全対策の面からも懸念される状況である。</p> <p>そこで、常に万全な車両で貸し出すことができるよう、現有車両を修理、点検、更新することで、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境の確保を図る。</p> <p>【参考指標】 令和4年度公共用バス利用団体/利用日数 延べ222団体/延べ256日</p>								
補助事業の内容	市が所有する公共用バスの修繕及び更新								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成25年度から令和6年度 基金の処分：平成26年度から令和6年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	25	8,900,000				8,900,000		8,900,000	
	26	8,000,000				8,000,000	8,586,000	8,314,000	8,586,000
	27	20,000,000				20,000,000	1,068,000	27,246,000	1,069,246
	28	9,680,000				9,680,000	1,309,000	35,617,000	1,309,674
	29	6,000,000				6,000,000	2,550,000	39,067,000	2,557,885
	30	6,000,000				6,000,000	780,000	44,287,000	784,624
	元	6,000,000				6,000,000	30,471,000	19,816,000	30,471,991
	2	6,000,000				6,000,000	747,000	25,069,000	747,919
	3	6,000,000				6,000,000	9,379,000	21,690,000	9,379,703
	4	6,000,000				6,000,000	469,000	27,221,000	469,045
5	6,000,000				6,000,000	530,000	32,691,000	530,986	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 利用対象である各種団体の公共用バス活用において、前年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により利用が大幅に減少していたが、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類に指定されたことによりコロナ禍前と同等の利用状況となった。 利用団体にアンケート等の調査を行った結果「コロナが5類化したので4年ぶりに活動を再開できた」「車内がきれいいで快適に利用できた」「スケジュールとおりにバスが利用できた」等の声が挙がっており、多くの団体が「次回も利用したい」と好評である。 このことから当事業により、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境を確保できたものと考えます。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ①バス側面にステッカーを貼り、車内にも掲示 ②市ホームページに掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者期間の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	産業の振興に寄与する事業:小美玉市地域再生交流拠点施設維持管理運営等事業基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市山野1628-44(空のえき「そ・ら・ら」)								
補助事業の成果の目標	<p>空のえき「そ・ら・ら」は、平成26年7月31日にオープンして9年5ヶ月が経過し、現在約437万人の来場者を迎えたところである。</p> <p>地場製品の販売、地場産品を味わえる施設、イベントの開催、屋内外広場を充実させ、地域経済の活性化につなげ、地域活動交流拠点としての環境の確保を整え、さらなる集客を図る。</p> <p>【参考指標】</p> <p>令和 2年度 来場者数 355,700人 令和 3年度 来場者数 390,700人 令和 4年度 来場者数 450,700人</p>								
補助事業の内容	小美玉市地域再生交流拠点施設の維持管理及び運営等に係る事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和7年度 基金の処分:令和元年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	H30	50,000,000				50,000,000		50,000,000	
	R1	41,043,000				41,043,000	9,234,000	81,809,000	9,234,635
	R2	62,074,000				62,074,000	30,000,000	113,883,000	30,527,436
	R3	33,994,000				33,994,000	30,000,000	117,877,000	33,078,600
R4	50,000,000				50,000,000	30,000,000	137,877,000	35,687,774	
R5	50,000,000				50,000,000	31,654,000	156,223,000	34,212,502	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 新型コロナウイルス感染症の影響から回復した令和4年度と比較し、令和5年度の「そ・ら・ら」全体の売り上げは約100.4%と前年度維持になっているが、来場者のアンケートでは9割以上の方から「普通～満足」や「再度来場したい」との回答を得られており、目標は達成できたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①毎月発行している「そ・ら・らNews」に掲示 ②市ホームページ及び「そ・ら・ら」ホームページに掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事 業 評 価 書

補助事業名	教育文化施設:小美玉市図書館図書資料等整備基金																																				
補助事業者名	小美玉市長																																				
実施場所	小美玉市小川1664-2(小川図書館)、小美玉市高崎291-3(玉里図書館)																																				
補助事業の 成果の目標	<p>小美玉市図書館は市民の学習意欲を支援する施設として、新刊圖書の購入及び貸出、県内図書館等との連携による貸出サービス等、地域住民の実情に即したきめ細かい奉仕作業により、親しみやすい図書館として広く利用されるよう図書資料の整備充実、サービス体制の強化を図り、市民の生活文化の向上に努める。</p> <p>【参考指数】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>来館者数</td> <td>47,495人</td> <td>資料購入数</td> <td>4,633点</td> <td>資料貸出数</td> <td>133,389点</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>来館者数</td> <td>23,488人</td> <td>資料購入数</td> <td>4,168点</td> <td>資料貸出数</td> <td>92,965点</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>来館者数</td> <td>26,838人</td> <td>資料購入数</td> <td>3,342点</td> <td>資料貸出数</td> <td>95,715点</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>来館者数</td> <td>35,706人</td> <td>資料購入数</td> <td>4,645点</td> <td>資料貸出数</td> <td>118,319点</td> </tr> </table>									令和元年度	来館者数	47,495人	資料購入数	4,633点	資料貸出数	133,389点	令和2年度	来館者数	23,488人	資料購入数	4,168点	資料貸出数	92,965点	令和3年度	来館者数	26,838人	資料購入数	3,342点	資料貸出数	95,715点	令和4年度	来館者数	35,706人	資料購入数	4,645点	資料貸出数	118,319点
令和元年度	来館者数	47,495人	資料購入数	4,633点	資料貸出数	133,389点																															
令和2年度	来館者数	23,488人	資料購入数	4,168点	資料貸出数	92,965点																															
令和3年度	来館者数	26,838人	資料購入数	3,342点	資料貸出数	95,715点																															
令和4年度	来館者数	35,706人	資料購入数	4,645点	資料貸出数	118,319点																															
補助事業の内容	小美玉市図書館の図書資料等整備に係る事業																																				
補助事業の 始期及び終期	基金の造成:令和元年度から令和8年度 基金の処分:令和2年度から令和9年度																																				
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に 要した額																													
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計																												
		円	円	円	円	円	円	円	円																												
	R1	4,900,000	0	0	0	4,900,000	0	4,900,000	0																												
	R2	4,900,000	0	0	0	4,900,000	2,000,000	7,800,000	2,000,271																												
	R3	4,900,000	0	0	0	4,900,000	3,000,000	9,700,000	3,000,042																												
R4	4,900,000	0	0	0	4,900,000	4,900,000	9,700,000	4,901,624																													
R5	4,900,000	0	0	0	4,900,000	5,300,000	9,300,000	5,300,000																													
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 来館者数・貸出点数とも、昨年5月に新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類へ移行後、回復傾向にある。 利用者アンケートにおいて「図書館の満足度」に関する各質問項目への回答が、「満足」「やや満足」「普通」あわせて約94%の評価を得ており、目標は達成できたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ①市図書館ホームページに掲載 ②市広報紙(図書館だより)に掲載 ③市図書館内に掲示 ④図書資料奥付にスタンプ印を押印</p>																																				
事業の改善措置及び 今後の対応	無																																				
事業の評価に際しての 第三者機関の活用 の有無	無																																				

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:文化施設等維持管理運営等事業基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市小川225(小川文化センター)								
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市は文化ホールとして3つの施設があり、その中で小川文化センターは、昭和57年に開館して以来、41年が経過し、年間約6万人が利用している。</p> <p>大ホールは1,081席を備えており、芸能、文化イベントや学園発表会、式典行事が行われ、小ホールや会議室は文化行事や会議など幅広く利用されている。</p> <p>交付金を活用し、保守点検等を始め施設の維持管理を適切に行うことで、文化施設の利用者が安心して快適に利用できるようにし、またこの施設を利用したくなるようにすることで、文化の振興と地域の活性化を図る。</p> <p>【参考指数】 令和2年度 施設利用者数 6,597人 【耐震・改修工事及び新型コロナウイルス感染対策のため利用制限有】 令和3年度 施設利用者数 30,007人 【新型コロナウイルス感染対策のため利用制限有】 令和4年度 施設利用者数 44,978人 【新型コロナウイルス感染対策のため利用制限有】</p>								
補助事業の内容	小美玉市文化施設等の維持管理及び運営等に係る事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和2年度から令和11年度 基金の処分:令和3年度から令和12年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額	
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計
	令和	円	円	円	円	円	円	円	円
	2	83,000,000	0	0	0	83,000,000	0	83,000,000	0
	3	23,430,000	0	0	0	23,430,000	15,982,000	90,448,000	15,982,742
4	50,000,000	0	0	0	50,000,000	24,741,000	115,707,000	26,343,085	
5	50,000,000	0	0	0	50,000,000	26,000,000	139,707,000	26,599,146	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] アンケートの結果、施設を再び利用したいとの回答が多く寄せられ、理由(自由記述)でも「良い設備を完備している」「快適に発表できた」と肯定的な意見が寄せられた。 上記の結果を受けて、本市としては交付申請時の目標が達成されたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施方法] 市並びに施設ホームページへの掲載及び施設入口案内板への掲示により実施した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価価値書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小美玉市情報教育支援基金										
補助事業者名	小美玉市長										
実施場所	小美玉市内小学校及び中学校										
補助事業の成果の目標	<p>当市の小中学校では、優先的に整備すべきICT環境整備について「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」に基づき整備を行ってきた。</p> <p>現在、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっている中で、1人1台端末の整備を行い、普通教室での活用や個別学習、グループごとの発表等協働学習等に活用している。</p> <p>小中学校のICT環境の授業活用の機会を促進し、特別教室や校外での学習等にも取り入れることで、一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の向上を図るものである。</p> <p>【参考指数】児童・生徒数:3,409人 (R5. 5. 1現在)</p> <p>小川南小 373人、竹原小 188人、羽鳥小 497人、堅倉小 225人、納場小 285人、玉里学園義務教育学校(前期課程) 340人、小川北義務教育学校(前期課程) 287人、小川南中 236人、美野里中 632人、玉里学園義務教育学校(後期課程) 188人、小川北義務教育学校(後期課程) 158人</p>										
補助事業の内容	情報機器の更新、新規整備、リース継続										
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和7年度 基金の処分:令和元年度から令和9年度										
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処 分 額 (B)	基金 残 額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計				円	円
	H30	60,004,000	0	0	0	60,004,000	0	60,004,000	0		
	R1	60,000,000	0	0	0	60,000,000	40,521,000	79,483,000	44,852,095		
	R2	92,487,000	0	0	0	92,487,000	52,344,000	119,626,000	56,676,112		
	R3	60,000,000	0	0	0	60,000,000	36,056,000	143,570,000	73,797,753		
	R4	99,890,000	0	0	0	99,890,000	44,364,000	199,096,000	95,639,027		
R5	67,354,000	0	0	0	67,354,000	39,857,000	171,067,000	66,944,328			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>各学校の教職員、児童生徒に「児童生徒のICT活用に関するアンケート」を実施したところ、「パソコンやタブレットを使うことが楽しい」と感じる児童生徒が94.7%、「パソコンやタブレットを活用した授業がしたい」と考える児童生徒が83.2%おり、ICT活用にかかる充実感を9割近い児童生徒が得ているため、目標は達成したと評価する。</p> <p>活用される教科は、「算数/数学」が最も多い結果となり、反対に、活用が難しいとされる教科は、「体育」という結果になった。</p> <p>活用実績は、通常授業のほか、屋外授業や社会科見学が挙げられる。プロジェクトを用いた授業では、教材を拡大表示して説明するなど「わかりやすい授業」に貢献している。</p> <p>今後の展望として、児童生徒が活用に対して意欲を示していることから、子どもたちが効果的な学習を進められるよう教職員と連携を図りながら、さらなる活用率向上を推進する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校だよりに掲載し、保護者及び地区住民へ周知 2. 市ホームページ等で掲示 										
事業の改善措置及び今後の対応	無										
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無										

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小美玉市行政区集会施設管理基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市与沢百里区・竹原中郷区								
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市は行政区ごとに集会施設があり、地域住民の福祉の向上及び交流の場として、総会や役員会などの会合、敬老会などの催事などに利用し、コミュニティ活動の拠点として活用されている。</p> <p>しかし、集会施設の老朽化やバリアフリー化に対応するための整備等、今後ますます集会施設の修繕等の需要が増加することが予想される。</p> <p>そのため、交付金を活用し、集会施設の管理等を適切に行い、利用者が安心して快適に利用できる環境整備を行うことにより、地域住民のコミュニティの活性化を図る。</p> <p>【参考指数】 令和4年度 行政区世帯数 11,449世帯</p>								
補助事業の内容	小美玉市行政区集会施設の管理等に係る事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和5年度から令和14年度 基金の処分:令和5年度から令和18年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				
	R5	円 10,000,000	円	円	円	円 10,000,000	円 2,213,000	円 7,787,000	円 3,268,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 小美玉市行政区集会施設2カ所の修繕が完了した。集会施設の利用代表者を対象に、意見聴取を行い、行政区集会施設が修繕されたことにより、利用者が安心して快適に利用できるように整備されたとの声が上がっており、事業の成果が認められた。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 地区回覧、修繕箇所に交付金活用の表示。また、市ホームページに掲載し、多くの市民に防衛交付金による整備事業であることを周知することができた。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小美玉市教育活動支援基金									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市内									
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市では、市内全小学校5年生対象に、夏休みに1泊2日の自然教室を行っている。その児童の移動手段として、その都度民間バスを借上げることにより、移動手段を確保しているところである。</p> <p>このような教育活動は、人や自然とのふれあいを通し、児童の豊かな心と健康の増進、自然愛護の心を培うために必要であり、児童の安定かつ円滑に教育活動に参加できる環境の確保を図る。</p>									
補助事業の内容	<p>自然教室移動への民間バス借上げ</p> <p>【参考】 令和5年度の上記バス借上げの台数/利用人数: 大型13台/355人</p>									
補助事業の始期及び終期	<p>基金の造成:平成27年度 基金の処分:平成28年度から令和7年度</p>									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処分類 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	27	30,000,000				30,000,000		30,000,000		
	28	0				0	4,680,000	25,320,000	4,681,260	
	29	0				0	4,040,000	21,280,000	4,040,855	
	30	0				0	4,764,000	16,516,000	4,764,537	
	元	0				0	3,289,000	13,227,000	3,289,348	
	2	0				0	0	13,227,000	0	
	3	0				0	0	13,227,000	0	
4	0				0	0	13,227,000	0		
5	0				0	1,278,000	11,949,000	1,278,000		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 各学校の教職員等にアンケートを実施したところ、7校全てから、バスを借上げることで児童・生徒が教育活動に参加できる環境が確保できているとの回答があったため目標は達成したと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 保護者案内通知文、学校ホームページ、学校だより、市ホームページで防衛省の交付金を活用している旨掲載した。</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									